



TITLE:

失業問題に就きて

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 失業問題に就きて. 経済論叢 1919, 8(4): 565-579

ISSUE DATE:

1919-04

URL:

<https://doi.org/10.14989/127508>

RIGHT:

失業問題に就きて

神戸 正雄

(一)

平和の克復が失業問題を生ずるといふことは豫ねて歐米にて用心された所であり、そして我邦にても識者の間には夙に注意された所である。唯だ我邦にては此可能的なる重大問題につきての實際上の注意が漸く近頃平和克復の目前に來たときに至つて初めて起つたのは惜しむべきことであり、其の之に對して行ふべき施設にしても今となつては最早時機既に遅しといふものゝ之あることゝなつた。併し歐米の之が用意の周到なりしに比して我國の之に對する注意の薄かつたといふことに就ては、必ずしも彼我注意力の強弱にのみ因ると爲すことは固より出來ない。其は實際此問題が彼に在つては救済の甚だ困難なる問題であるのに、我に在つては比較的容易に救済するを得べき事情があるからである。蓋し第一には彼國にては此度の大戰争に際して數百萬の壯丁を戦場に送つたのが平和克復と共に歸還するのに、内地にては婦人てふ勞働者の職業に就き居る者もあつて之を直ちに排斥して壯丁をして之に代らしむることの難きものがある。然るに我に在つては斯かる特殊の事情を有たない。幾萬かの西伯利亞歸還兵はあるが、彼に比するに於て殆んどいふに足らぬ。第二には彼に在ては其一般經濟組織が此戦時中、戦争の爲めに全能力を發揮して後方勤務を爲した。今其が平和克復になると之を平和的需要品の供給に應ずるが如くに改造す

る爲めには相當に永き時間と大なる困難とを拂はなくてはならぬ。切角從來の戦争用品の製作産出に慣れたる労働者も今は之を用ゐるに所がなくなつて職を失はなくてはならぬこととなる。然るに我に在つては假令此戦時中若干の軍需品を作り供給して居たけれども、其は全體上は極めて小規模であり、特に露國の解體以來、其が非常に小くなり、尙ほ別に歐米に軍用として供給して居たものもあるが、其も平和時にも使用され得べき性質のものが多く、他方、内地に於て並に東南洋南米阿弗利加等へ向つて、歐米競争の之なきに乘じて盛んに作り且つ供給した物に至ては其は凡へて平和的需要品であり、平和克復後も、歐米の競争にさへ堪え得るならば其販路の太しく縮少を憂ひざる性質のものである。故に我の事情は此の點に於ても歐米に比し甚だ有利である。第三には労働者の状態が大體彼に在ては比較的専門的になつて居るのに、我に在ては不熟練の域を脱せざるが多く、異りたる仕事に轉換することが彼よりも容易であり、又彼に在ては社會組織が箇人本位で、失業者を生ずるも親族者の之を救ふこととなるを望むことの出来ないのに、我に在ては家族制度や隣保友人相助の義理が存在して、失業者の救済扶助が自らの間に行はるゝといふ便利もある。其には一面弊害もあるが、併し此失業救済のときに一の救済方法ともなるの利はある。凡そ此等の事情が相待つて我邦では失業が歐米はど甚しからず、假令其が起つても大した擾亂を生じないであらうと思はるゝ。我邦に於ける此に對する注意の不足せるが如きは右の事情によることを疑はぬ。

(二)

斯くいふと我邦では歐米に比し此問題につき全然有利なるかの如くに見ゆるが、併し必ずしも其うばかりとはいへない。此問題に關聯して我に不利なるものも亦少くない。第一に我國の事業は未だ彼に比して幼稚の域を脱しない。即ち固定資本に依ることの少きものであり、隨つて販路が擴張されたりと見れば、どしどし仕事を盛んにやり、勞働者を狩り集めて其の技能の不満足なるも意に介せず、唯だ一刻も早く物を作つて、一圓にても多く早い處で利益を擧げやうと計る傾がある。然るに歐米では一體の事業が機械的に傾き、多少永久的準備をして掛る所である。而して此後者の場合であれば濫りに勞働の需要を増加しない代りに、集めたる勞働は少々の不況が來ても成るだけならば維持しやうと計る。然るに我邦では集めるときはどしどし集める代りに、一旦製品の需要が薄くなると、其事業を持堪え之を改良し改造して後日好況の來るを待つといふことを爲さず、直ちに之を廢休して切角集めたる勞働者を解散することになる。茲に於てか我に在ては不況に襲はるゝ場合に、同一事情の下に歐米に於て生ずるよりも以上に、失業者を多く生じ同時に其場合勞賃の一層下落する傾がある。勞賃が前の場合に上ることの盛なりしと均しく、今度は下ることも著しくなる傾がある。第二には勞働者の組織が彼に在ては十分に發達して企業者に對し又國家に對して要求することが強いのに、我に在ては此が發達せず、彼等は全く烏合の衆で、不況に際して失業、賃金低下の生ずる場合、彼等自らの不利となる運命を待つの外なきことになる。第三には失業者の爲めに國家が仕事の場所を與ふるにつき、彼に在ては洪大なる自國領土(本國及殖民地)を有ち、其に於て土地開墾事業等に從事せしむることが容易であるのに、我は

之を缺くが爲めに仕事を與ふること困難といふことがある。更に目下の特殊事情ではあるが、第四に我邦にては米價が頗る高く、或は向後もつと高くなり、其の容易に下らぬといふことがある。食料品の價が平和克復後も高いといふことは、彼に在ても同様ではあるが、彼に在ては食料品需供の範圍が廣く、戦後交通の便利となるに隨ふて次第に下る傾がある。然るに我に在ては特殊の食料品を要するの關係上、此事が良く行はれ難い。特に今年度には米の供給が頗る不足して、價の問題よりも量の問題が一層重視せらるゝ程である以上は、價も亦た異常に高く、即ち今日よりもより高くなるかも知れない狀況に在る。此が最も多く我の苦痛とする所である。一方には此の如く米の價が非常に上るときに、他方に失業者續出し、特に勞賃の天下落とならば其れこそ大變で、國內の擾亂を生ぜすには措かぬ。我國には歐米ほど廣く亘つては居らぬであらうが、併し社會組織を破壊改造したしとの思想は可なり深く入込んで居るから、其等に對し活動の好機會又は好口實を與ふることとなる。失業問題は食料問題と結付て政治上の大問題ともなり得る。又切角の國富を破壊消盡するの不利をも惹起す。深く注意しなくてはならぬ。此に於てか我邦にても假令歐米ほど失業其ものは大でなくとも、其に關聯して生ずる紛擾は彼よりも甚しくなる可能もあり、又失業其ものも彼よりも割合に大くなる可能があり、之を救ふについて困難なる事情もあるから、矢張り相當に始末の方法を講し且つ着々其を行ふことが肝要である。

(三)

偕て然らば失業は如何にして救濟さるゝかといふに、此は必すしも人爲的にのみ行はれない。

自然的調節作用もが行はれて自らの間にも救済せらるゝのである。蓋し一方に於ては失業者の歸郷が相當に行はるゝ。元來我邦の勞働者には特に此戰時の好況に促されて都會に集まりたるものには専門的に熟練なる勞働者は少く隨ふて都會にて好き仕事を見出すことが出來なくなり、又は勞賃が餘り安くなつて到底都會生活の困難なることを見るに於ては、彼等は歸郷することになる。又我邦の農村には彼等を迎ふるの餘地ある處も少くない。我邦の農業は大體には過小を憂ひ、勞力の過剰を見るが、地方によつては農業勞働者の缺乏を訴ふる處が少くない。農村は失業者を收容するの餘地が相當にある。其れに我邦では家族制度も尙ほ或度まで維持されて居るから、都會失業者の歸郷するのに一層便利がある。隨ふて此歸郷といふことが相當に行はるゝ。此歸郷といふことは獨り農村への歸郷のみならず、田舎的都邑への歸郷といふこともある。地方小都邑の者が大都會の事業勃興に刺戟せられて出て往つたのが、後者に於ける事業の衰退を見るに於て再び元の小都邑に歸るといふこともある。此も現に相當に行はれて居るといふことである。他方に於て都會の事業からいふも、凡へての事業が平和克復により打撃を受くるのでなく、一面に製鐵造船化學工業の如く大打撃を受けて閉業するものがあるか、他面一般平和的事業の如き、從來は其仕事を擴張したくとも、戰時的事業の好況の爲めに、資本を得ることが難いとか特に勞働者の得られないことの爲めに、手控をするの外なかつたのか、今茲に勞働者があるならば、其を收容しやうといふものも可なり多くある。現に此關係から失業者の救済されたのがある。前にもいふ如く我國事業界にては必ずしも熟練勞働者のみを使用せざる所であるから、多少異りたる種類の仕事

に慣れ來れる者も、或度までは包容して仕事に當らしむることが出来る。そして其等の轉業の行はるゝに就き、從來よりも存在する所の各種の労働紹介機關が之に當つて其が圓滑に行はるゝ所である。我國には労働組合や公營紹介所に依るの紹介は歐米の如くに十分發達して居らぬか、私營の營利的紹介事業は可なり進んで居り、其れに若干の公益的紹介機關もあり、特に労働者の親分といふ特殊の者があつて相當に紹介事業を行ふて居る。其には弊害もあるが、併し長所もある私利のみ計る口入屋や役人的になる所の公益的紹介所では出来ない所の努力を爲す所である。孰れにせよ昨年十一月以來失業者は事實相當に生じたけれども、自らの間に可なり救済せらるゝことが出來て、未だ今日まで大した騷擾を生ずるには至て居らぬ。

(四)

斯うして見ると、失業救済といふてさう大して騷き出す必要なきやうでもある。が併し油斷は出來ない。是れから段々と之につき難問題を引起すかも知れない。といふのは今日迄の處は、我邦にて兎も角、田舎が米高、農産物の高價により刺戟せられて好都合であり、歸農者を收容することが樂に出来るといふのであるが、此が萬一、農産物の價の下落でもすることになれば、歸農者を收容する所でなく、却つて農村を棄てゝ都會に出る者を増加することになる。大に困難なることになるが、其方は先づ蓋然性が少いとして、偕て此都會に於ける事業界の景況である。此が今日はまだ大して惡くない。戦争が濟んだからといふて歐米の貨物がまだどしどし入つて來る程の事は出來ない。東南洋等の市場にても、まだどしどし彼等の貨物が遣つて來る所には往かない

此等の市場にては歐米品の來るのを期待して日本品の注文を取消したのもあつたが、段々と歐米品渡來の見込少きを見るに於て、再び我に注文を出して來るもある。其よりも却つて歐米よりの新需要來の少いのが我が失望の種である。此方が來ないと日本としては困る。假令東南洋等の販路が得られても、其方は未半開の土地で購買力も大くない。其にては工業品の需要のあるだけ都合は良いが、併し高の知れたものである。反之歐米は到底我國の全製品を多く買ふては呉れないで半製品粗生品を買ふて呉れるのみなるにせよ、購買力の大いだけ大事な顧客である。其顧客が今後どしどし我國産に對して需要を起して呉れることにならなければ、我としては大に困ることにならざるを得ぬ。多分彼國の秩序の回復と共に相當に右の需要を生ずること、は思ふが、併し彼國の社會内部の事情は此平和克復後、混沌たるものではなからうか。心配に堪えないものがある。此大戦後に於て歸還兵の處分は何としても彼にとり困難なる問題である。其れに勞働者の思想も此度の戦争で大なる刺激を受けたから、到底或動搖を免れない。其が爲めに餘程、我國産に對するの需要が増加せざるのみか、減退することゝもならざるか。甚だ憂慮に堪えない。米國だけは少し動搖なくて済むと思ふが、其とて歐洲の影響を受けずには措かぬ。彼等は互に思想感情の共通となる可能が大いのみならず、米國の經濟上の發展も畢竟半ばは歐洲の背景に依るのであるから、歐洲が混沌となる場合、米國も亦不況とならざるを得ぬ。加之東南洋とても歐洲混亂の影響を受けて混亂することになり得る。此等のことを考ふると我國の都會的事業、其と共に農村的事業にも此外部原因より打撃を受ける可能性がある。此をも考慮して用意を要する。

(五)

偕て失業者が生じたとして、そして自然の調節のみにて十分に之が救済されざることになつた又は然うなるべき兆候の見へた場合如何にするかといふに、此は失業者の自業自得として放任するを得ぬ。國家が之に對し人爲の救済策を講ずべきは勿論のこと、之につき企業者も共力するの義務がある。彼等も嘗て好況のときには労働者を使役して相當又は相當以上の利益さへ擧げた以上は、不況になつたからといふて、直ちに解放して顧みずといふのは不當である。過去の之を使用したる間、労働者に對して相當の勞賃を拂つたから、其上彼等を助る義務なしとも考ふるか知らぬが、其拂つた所の勞賃が果して十分なるものであつたかは分らない。或は多少不十分であつたかも知れない。其不十分であつた丈にては尙ほ此場合補償しても良い。そして實際之を補償することを至當とする場合が多からう。又假令此が斷言出來ないにせよ、嘗て自らの資本を提供して生産に共力せしめた所の同僚たる労働者に對する徳義上からしても、今や困るべき労働者を救済することゝならなくてはならぬ。又他日仕事の行はれ得るときを考ふるならば、此今の失業せる労働者を相當に救済して置くことは、恰も企業者が閉業又は事業縮小中、遊び居る所の機械の手入れをすると同じく、必要なる保存行爲とも見なければならぬ。然しながら國家や企業者のみ之を救済するといふのは至當ではない。矢張り労働者の自助にも依らなくてはならぬ。今日の如く各種の權利を要求せんとしつゝある所の新労働者は何よりも第一に自助を大切と考へなくてはならぬ。他力のみに依る者は慈善を受くべきもので、權利を要求すべき者でない。たゞ從來我邦の

勞働者は未だ此自助に關する訓練を缺く所であるからして、今の應急の處置としては國家や企業者の力を煩はすものが多からうと思ふ。加之我國では從來勞働者自らの組織が足らない許りでなく、政府としての之につき施設すべきものも不十分であるから、此今日の失業救済にしても恒久的施設に依ることは出來ずして、全く應急的の施設に依るの外なき地位に在る。企業者に至ても口に恩情を唱へつゝも、實際は斯かる問題につき極めて冷淡ならんとする傾もある。要するに我邦では此種事業につき各方面の覺醒を乞はなくてはならぬ狀況に在る。

(六)

失業救済策の第一は失業豫防策である。失業者の生ずる前に、之を生ぜしめざるやうにするのである。斯かる方策が更に二つある。一は政府に於て失業を生ずべき不利事業を或度迄、金融、關稅政策により又は事業合同を促す政策によりて保護存續せしむること、他は企業家に於て急激なる解雇を避け、徐々に之を行ひ、或は勞働時間を短縮して、成るべく從來の勞働者を維持することである。前者は即ち事業其ものを維持し、間接結果として勞働者を維持するのである。失業問題といへば勞働者の失職を問題とするのが通例であるが、或は企業者の企業を破らんとするも一の失業と見て良い。之も一の失業問題ともいへる。其は兎に角として、勞働者に失業せしめざらんとする上からいふても、企業者の企業の基礎を失はしめざることが先づ大事である。其には平和克復により打撃を受けんとする事業を或度まで保護しなければならぬ。斯かる方法として便利なるは關稅政策であるが、此は假令其事業を助くるにせよ、他面に其產物を使用する他の事業

を苦しめることになるから成るべく避けたい。然るときは、政府が特權銀行に下命して、金融上より之を救助することが選むべきこととなる。普通の銀行であると、或事業が困り出すと、其に對して愈々貸出を引締め、金利を高めることになつて、愈々其事業が困まり、其事業は品物を賣急かざるべからざることゝなつて、愈々其が下り、隨つては愈々金融上の壓迫が加はることになる。斯くなると比較的基礎の固き同業者も矢張り其製品の下落の爲めに困らなければならなくなる。斯くて現に鐵類に見る如く、内地の方が歐米よりも價が安いといふ奇現象さへ生ずる。で此に對しては政府として若干特權銀行を通じて貸出を爲し、而も之をして寛大なる態度にて爲さしむることを要することになる。尤も此を餘りに相手選はず行ふことは出来ぬ。比較的基礎の堅實なるものでむしろ他の卷添を喰はんとするものを助るの外はない。又其等に對しても、并に其他の基礎一層弱きものに對しても、むしろ合同を進めて合同したる者には特に金融上にも一層の便利を與ふるといふことにすべきである。或は其の製品の政府需要品納入につき便宜を與へ、或は其製品原料品の輸送につき便宜を與ふることとする。或は製鐵業の如く官營のものゝ存する場合には官業が民業を助成維持するの態度を以て、官業の製品販賣につきては市場の形勢を見て、暴騰暴落を適度に調節することに注意し、販賣の時期、數量、價格につき中心的調節機關となること有望ましく、又民業の生産し得る物は成るべく、民業に任かし民業の不利とするものを引受るやうにすることが望ましい。尤も此終の點は技術上困難とするものが多少はあらうから、絶對に行ふことは難いが、大體其方針にて往くことが望ましい。此等販賣上及生産上の注意に至ては多少財

政治上の不利になるかも知れないが、其方は政府としては忍ぶの外ない。何れにせよ製鐵事業の如きものは特殊鋼などに關するものを除くの外、多くは大規模に非れは經濟的に行はれ難きものであらうから、餘り小規模のものゝ存在は全體上は有利でない。其が自然に存立し得るほど何か特別の便利を有つものは別とし、左もないものであるならば、之を強いて保護し過るのは良くない。此戰後の不況により諸多の過小規模のものゝ倒れるのは強いて其を保護するに及ばぬ。去りとて多少大仕掛のもの、合同を爲して相當に大くなつたものまでもが續々倒れるといふのは、此事業の國防的重要等から考えても、亦今日の場合の勞働者の失業救済の上から考えても之を防止しなくてはならぬ。右の如き保護方策の必要なる所以である。尙ほ其他の事業につきても之に準じて保護策を攻究することが適當であらう。其れから今や閉業に至らずして事業を縮少しやうといふものに在ては、其の勞働者の解雇を爲すにつき急激に之を行はず、徐々に之を行ふとか、一時、勞働時間を短くして出来るだけ從來の勞働者數を維持するとかいふことにしたい。此點は企業者に之を望まなければならぬ。

(七)

右第一段の施設によりて失業者防止が出来れば良し。此の出来るだけでは第二段に移つて彼等が多少永續的の事業に就職するまでの間の過渡的の方策を要することになる。此の如きものとしては三つ擧ぐることが出来る。其は先づ第一が職業紹介である。此は舊來の民營公益團體營及公共團體營の外に、一層多く公共團體營のものを發達せしめて、新舊の凡へてのものゝ間に中央

政府にて統一機關を設けるが良からうと思ふ、之につけても若既に我國に勞働者の自助に成る所の勞働組合があれば一層良く此仕事を行ふことになるが、其が今一朝にして發達し、此種事業を盛に行ふことが出來ないとすると、何うしても公共團體營の起すの外はない。勿論公益團體營のものにても起るならば、其も必ずしも排斥はせぬが、併し若し其が企業者の主動の下に起ることになると、公益又は慈善の名に隠れて、勞働者の利益を制限することにもなる。矢張り其よりは公共團體營にして欲しい。それから此職業紹介に關聯して失業者が其々の方面へ配當さるゝ場合の運賃の如きにつきても無料とするとか割引とするとかの特典を與ふべきであらう。第二には一時的の授座である。此は前記の職業紹介機關に附設するを適當とする。勞働者が適當なる新職業を見出すまでの間徒食して居るといふことは彼等自らの直接經濟上の損失であるのみならず、其間に閑居して不善を爲し、惡しき慣習を作ることになつては彼等の將來の生活にとり又勞働功程にも有害であるから、此間を有益に使用せしむることが肝要である。又之と關聯して彼等の訓育の施設も怠つてはならぬ。第三には失業者の仕事を見出すまでの間、金錢的救済の必要を生ずることとも考えらるゝ。此につき既に勞働組合があれば、之を多少行ふことになり、又勞働組合と結付き又は之よりも獨立して失業保險制度があれば、其が相當に之につき働くことになる。併し此等凡へてが今日の當面の必要に應ずるには足らない。併し從來可なり多くの方面にて發達したる公共組合が此際若干の働きを爲すことにはなる。其の存在するだけにては解職失業の生ずる場合に相當の金員を交付することになる。別に又勞働者各箇の任意にて貯蓄を爲し、又は各事業にて強

制的に労働者に貯蓄を行はしむることが行はれて居るなれば、其等も今日の場合用立つ譯で、此れなどは前からしても好景氣の時分に相當に行つて居たならば、此際非常に役立つべきである。之が爲めには又政府として小額公債の發行を行ふことが望ましい。公債といへば今までは中以上の人々のみ應ずるのであるが、其が労働者にも廣く販路を有つに至ることは、公債政策としても良きことである。此の如きは平時よりして注意すべきことであり、特に前の好景氣の時に最も力を用ゆへきことであつたが、今となつては聊か時機を逸して居る。茲に於てか今日金錢的救済としては労働者自らの貯金か、共済組合よりの交付金を別とすれば、事業主よりの解職手當金を成るだけ多く出さしむることに行くより外はない。

(八)

第三段に於て失業者の爲めに新なる仕事其ものを供する爲めの方策を要する。職業紹介によつて恰も労働の需要ある處、労働に缺乏を感じ居る處へ失業者を向けることが出来れば、其れで良いが、其の出来ざるだけでは新に仕事の口を作つてやらなければならぬ。其にも種々あるが大體政府が新に事業を起すことに依るものと然らずして單に政府が助成指導することに依るものとある第一種のものとしては國家公共團體の土木事業の擴張を行ひ又は其進行を速めるといふことが必要である。一體此種の事業は平時特に好景氣で、世の中に仕事の多いときは中止して、世の不景氣で仕事の乏しきとき起すことが望ましい。斯の如くにすれば必要なる資金を得るにつきては、材料を輸入するにつきては、又勞力を雇入るゝに就ても、最廉價有利なることを得る。國家及公

共財政の上から有利なばかりでなく、一般經濟界から見ても好都合であり、此勞働者の失業救済の上からしても好都合である。で此調節の原則を定むることが望ましい。處が由來我邦では此事に關はずして、單に今年の豫算に此丈けの金を此丈けの仕事の爲めに取つたから、世の中が好景氣で、材料や勞働が高くても、金融界が逼迫して公債が有利に起せなくとも兎も角遂行する。之を遂行しないと切角の事業が起せず、愚なることのやうに考ふる所である。併し此は是非改良しなければならぬ。勿論國家公共團體の土木事業の中には一刻も早くやらなければならぬものもあるが、左程でないものも少くない。其の左程急ぐ必要なものは外界の狀況に應じて或は進んで行ひ或はむしろ中止すべきものである。で此種の事業には凡へて繼續費の年度別の伸縮の餘地を與へ、又は時宜により後年度に持越し得るの途を開かなくてはならぬ。其外別に、收支均衡調節基金の制を設けて、平素歳計の剩餘金を蓄積して置き、失業者救済の必要の生じたる場合に之を以て臨時土木事業を行ふこととするのも良からう。尤も此等の事は今日より初めても目前の失業救済には役に立たぬ。繼續費年度別の伸縮に至ては後年度分を今繰上げ行ふことは出来る。其の豫定の計畫に屬するもの并に他の新なる計畫に成るものを此際相當に行ひ、勿論其の爲めに公債を起すことは別に妨げないのみならず、本問題の爲め有益である。

(九)

其他の政府の助成指導に依るものには種々あるが、今日第一に考へらるゝのは食料問題の一解決策として、其の解決からは多少永遠的のものとなるが、失業問題からしては當面の一策となる所

の開墾助成事業である。此は現に此度の議會に政府より提案されても居る。平生ならば躊躇せらるゝ所以のものもあるが、失業問題も加はること故、今としては適切の一策といふことが出来る。第二には前に挙げたる平和克復の爲め打撃を受けたる事業以外の事業にしてむしろ我邦の將來有望なるが如き事業を各種の方法にて保護獎勵することは、一般産業政策として當然行ふべきことであるが、其發展の結果としては労働者收容の途が開け、失業救済ともなる。此邊の關係をも考慮して右の保護策を講ずべきである。第三は内地及海外移民の獎勵である。此も失業救済となる。そして其内地移民の方は前の開墾助成と關聯するであらうが、海外移民の爲めには之が妨害物を排除すべき外交的手段を要する。此の方は遺憾ながら目下日本に取り大體有利でないが、唯だ伯刺西爾などは可なり多く日本人を收容する餘地もあり、障害も少いやうである。第四は前の第二段にて挙げたる職業紹介と關聯して、其方にて廣く全國に於ける労働の需供の状況を調査したならば、労働者(田舎的、都會的とも)并に小作人に不足を感じる地方が少らずあるべきである。特に農村にても近年都會を慕ふて出て行くものが多く、小作人がなくなり労働者がなくなつて田園の荒廢に歸した所が少くない。之を調べて其に向て失業者を適當に分配するが良からうと思ふ。第五には工場法を勵行して労働時間を適當に短縮せしむるのも良からう。工場法施行の現狀にては未だ十分に良く其が行はれて居らぬ有様ゆへ、之を勵行したら若干、労働者收容の餘地を生じやうと思ふ。